

高松山とはなじよろ道・虫沢古道コース



歩いて、未病を改善！ 松田町 No.37
神奈川県・県西地域ウォーキング

「#県西ウォーキング」でSNSに
写真や感想をアップしよう♪

その昔、花嫁さんが通った道。思いを馳せて歩いてみよう！



アクセス

- S スタート** 富士急モビリティ「田代向」
小田急小田原線「新松田駅」から約20分
JR御殿場線「松田駅」から約20分
- G ゴール** 富士急モビリティ「田代向」
小田急小田原線「新松田駅」まで約20分
JR御殿場線「松田駅」まで約20分

※バスの本数が少ないので事前にご確認ください。
※コース詳細は松田町ホームページをご参照ください。



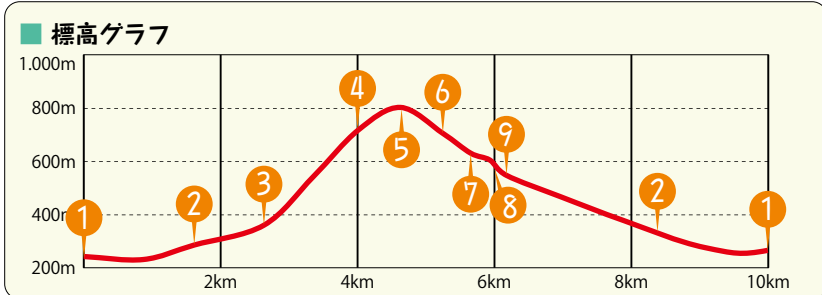
歩行距離	歩行時間	消費カロリー
10.0km	4時間25分	1,014kcal
高低差	歩数	
574.4m	13,072歩	

コースの魅力

【花木】ミツマタ(3月上旬~3月下旬)、しだれ桜(3月下旬~4月中旬)、マユミヤホウノキ(10月~11月)

【景観】高松山から眺める富士山・足柄平野

虫沢古道は
ストーリーを
知ってから
歩いてほしいな



コースの概要

田代向バス停から田代橋を渡り、案内板に従って進みます。「はなじよろ道」入口から「ヒネゴ沢乗越」を経て「高松山」へ。山頂は開けて眺望が良く、晴れた日には富士山を眺めながらのお弁当がおすすめ。「尺里峠」を過ぎると「虫沢古道」。茶畑の景観を楽しみながらスタートの田代向バス停に戻ります。

四季折々の魅力「高松山」

標高801mの「高松山」は低山ハイキングにちょうど良く、古道の逸話に思いを馳せながら気持ち良く歩けるコースとなっています。



春を待ちかねるように三つに分かれた枝先に可憐な花房をつけるミツマタや山桜、マユミの木など、四季折々の景観も魅力。整然と剪定された茶畑やミカン畑のどこか懐かしい里山風景が見えてくるコースの終盤まで、様々な表情を楽しむことができます。

チェンソーアートのおもてなし



コース上では、案内板や切り株などから励ますように見上げるかわいらしい動物たちに出会えます。チェンソーでダイナミックかつ繊細に彫り上げられた木彫り細工の彼らは街中でも見かけられます。どんな場所にもどんな動物がいるのか、探しながら歩くのも楽しみのひとつです。

※歩行距離と歩行時間は、松田町のデータを参照。 ※高低差、標高グラフは、国土地理院の地図データを参照。消費カロリー、歩数は、「成人男性：身長170cm、体重68kg」をモデルに計算。(元となる標高データの精度や計算方法による誤差が含まれています)。 ※各数値は、あくまで目安であり、年齢や体格、歩くスピードなどにより大きく変わることがあります。 ※掲載情報は、令和8年2月現在のものです。



ウォーキング MAP



③ はなじょろ道入口
 「はなじょろ道」とは、明治末期まで虫沢地区と山北町の八丁地域を結んだ、生活道であり花嫁さんが通った道。地元の言葉で花嫁を表す「はなじょろさん」から、こう呼ばれてきました。峠を越えて嫁入りした当時に思いを馳せて歩きたい道です。

「真弓ヶ丘」にはマユミの大木と説明の案内板があります。この大木は雄で、高松山山頂に雌の大木があります。

「高松山」から「尺里峠」までには男坂、女坂がありますが、このコースでは男坂を通ります。すぐに合流するのでどちらでも大差ありません。男坂の方が短く急ですが支えもあり、女性でも通行は可能です。



- ルールとアドバイス**
- 1 ゴミは必ず持ち帰りましょう
 - 2 植物・鳥・動物・虫などの採取・捕獲は絶対にやめましょう
 - 3 自分に合った歩きやすい靴をはきましょう
 - 4 水分の補給をこまめにしましょう
 - 5 日没までに下山できる余裕のある計画にしましょう
 - 6 山の天気は急変するので、レインウェアを持っていきましょう

コラム 虫沢古道 ～復活のストーリー～

100年の時を経て、地域の古道を復活させたのは「虫沢古道を守る会」。その名は、ハイカーが迷わないよう各所に設置された筆文字の道標で目にすることができます。達筆は福昌院ご住職。山歩きが趣味という事務長と二人、かつて炭焼きの荷卸しや花嫁が通った大切な道が荒れているのを見て立ち上がったのが始まり。「昔は山を越えて中学校に通った」という会長ほか少数のメンバーで、わずかな痕跡をたど

り、階段や道標の整備を行い、2011年「はなじょろ道」が念願になって開通したのです。現在もハイカーと地域の歴史遺産を守るため、活動を続けています。



「未病」を改善すれば、人生はもっと楽しめる。
 「かながわ県西地域」で未病を改善!!